

Q&A 麻疹(はしか): あなたが知っておくべきこと

2017年秋号
第1巻

麻疹は最も伝染しやすい疾患の一つとして知られています。感受性者(免疫を持たない人)のほぼ全員が、このウイルスと接触すると病気を発症します。さらに、狭い区域や閉鎖された区域の大気中に存在する感染者からのウイルス粒子は、感染者がその場を去ってから最長2時間も残存することが可能です。これによって、麻疹ウイルスに免疫を持たない人を保護することが困難になる場合があります。

Q. 麻疹とはなんですか？

A. 麻疹は呼吸器系に感染し、体全体に発疹をもたらすウイルスです。麻疹は極めて伝染性が高く、感染者からの呼吸飛沫を介して拡大します。

Q. 麻疹の症状には、どんなものがありますか？

A. 麻疹の最もよく知られる症状は、頭髮の生え際周囲から始まり、体幹に広がってから、腕や脚に達する発疹です。麻疹は他のいくつかの症状も同時に引き起こすため、感染者は1週間ほど非常に辛い思いをします。体の発疹が出現する1~2日前に、中心部が青みを帯びた小さな斑点が口腔内に出現します。これらの斑点は、「コプリク斑」として知られています。その他の一般的な症状には、高熱、咳、倦怠感、結膜炎(ピンクアイ)が含まれます。

Q. 麻疹はどのようにして伝染しますか？

A. 麻疹は、一般的に咳やくしゃみによる、感染者の呼吸飛沫で伝染します。感染は、麻疹ウイルスを含むこれらの飛沫が、鼻または口から入った時に起こる可能性があります。感染者の発疹に接触しても麻疹に伝染することはありません。しかし、麻疹の感染者は、発疹が出現した日から前後約4日間、伝染性を持っています。

Q. 麻疹は危険であったり、命にかかわったりしますか？

A. 麻疹感染症は、下痢または耳感染症から、脳の腫れ(脳炎)、肺感染症(肺炎)、発作または死亡などに至るより重篤な合併症の原因となり得ます。約3人に1人が合併症を経験し、これらの人々の多くが5歳未満の子ども、または20歳以上の成人です。麻疹に感染した妊婦は、早産、自然流産、低体重児出産のリスクが高くなります。免疫不全者は、感染症長期化のリスクが高まります。非常に稀ですが、麻疹感染症は、以前健康であった人に亜急性硬化性全脳炎(SSPE: subacute sclerosing panencephalitis)と呼ばれる致命的な疾患を引き起こす場合があります。SSPEは中枢神経系の変性を引き起こし、知能や行動上の問題、衰弱、発作、その後死亡に至ります。SSPEの症状は、当初の麻疹感染から数年後に発症するのが一般的です。



続く

Q&A 麻しん(はしか): あなたが知っておくべきこと

Q. 麻しんワクチンどのように製造されていますか？

A. 米国で使用されている麻しんワクチンは、ニワトリの胚細胞で増殖されたウイルスによる弱毒生ワクチンです。米国では、麻しんワクチンは、流行性耳下腺炎(おたふく風邪)および風しんのワクチンと混合されています。モーリス・ヒルマン博士により開発されたこの混合ワクチンは、一般にMMRワクチンとして知られています。

Q. 誰が麻しんワクチンの接種を受けるべきですか？

A. 麻しんワクチンは、12～15か月の子どもに推奨されています。2回目の接種は、4～6歳の間にすべきです。成人の感受性者(免疫を持たない人)は、麻しんワクチン接種を1回受けるべきです。

Q. 麻しんワクチンは安全ですか？

A. 麻しんワクチンは安全です。たまたまれ稀なMMRワクチンの副作用には、発疹、発熱、接種部位の疼痛、一時的な関節炎、一時的な血小板数の減少が含まれます。MMRワクチンが自閉症を引き起こすことはありません。

Q. なぜ、米国で麻しんの流行が起きているのでしょうか？

A. 麻しんワクチンは効果的です。MMRワクチンの1回接種後では100人中95～98人が、2回接種後では100人中99人が免疫を獲得します。しかし、麻しんウイルスは伝染性が極めて高いため、地域に感受性者が少数存在するだけでも、ウイルスが拡散することになります。一部の集団の人々がワクチンを接種できないことを考慮すると、地域における予防接種率を高く維持することが、流行を阻止するために最も重要です。

MMRワクチンは安全です。何十万人もの子ども
の研究により、MMRワクチンが自閉症の原
因とならないことが確認されました。



Q. ワクチンの接種を受けている人は、流行時に麻しんワクチンの追加接種が必要ですか？

A. いいえ。麻しんワクチンは長期的な免疫を生じさせます。したがって、以前にワクチン接種を受けた人は、一般的には免疫があると考えられます。免疫を有しているかわからない場合は、医師に相談してください。

Q. なぜ、麻しんワクチンは流行性耳下腺炎(おたふく風邪)および風しんワクチンと混合されているのですか？

A. 全3種類の疾患予防に必要な接種の回数を減らすために、ワクチンは混合されました。現在、米国では個別のワクチンは接種できません。

この情報はChildren's Hospital of PhiladelphiaのVaccine Education Centerによって提供されています。当センターは親御様や医療専門家の方々のための教育情報源であり、感染症の研究および防止に注力する科学者や医師、および親御様から構成されています。Vaccine Education CenterはChildren's Hospital of Philadelphiaの基金教授陣によって資金提供されています。当センターは製薬会社からの援助を受けていません。©2017 Children's Hospital of Philadelphia, 無断複写・転載を禁じます。17010-09-17